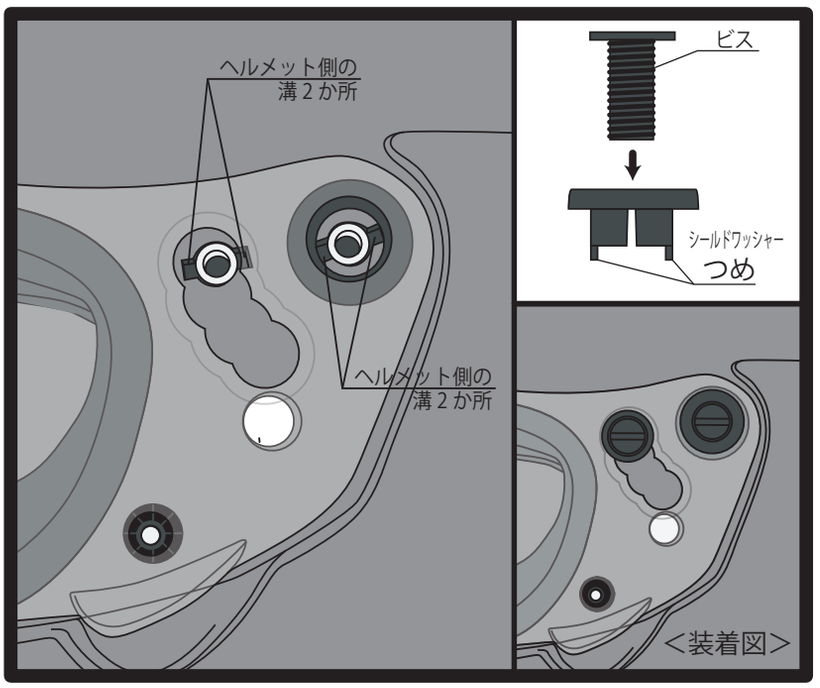
GTXのシールド着脱方法



■シールドの取り外し方■

①マイナスドライバーで 2 か所のビスを外します。
反対側も同様に行っていただくとシールドが外せます。

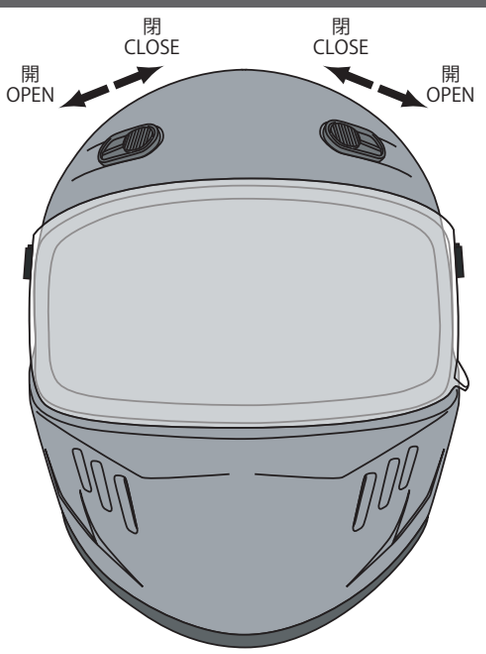
■シールドの取り付け方■

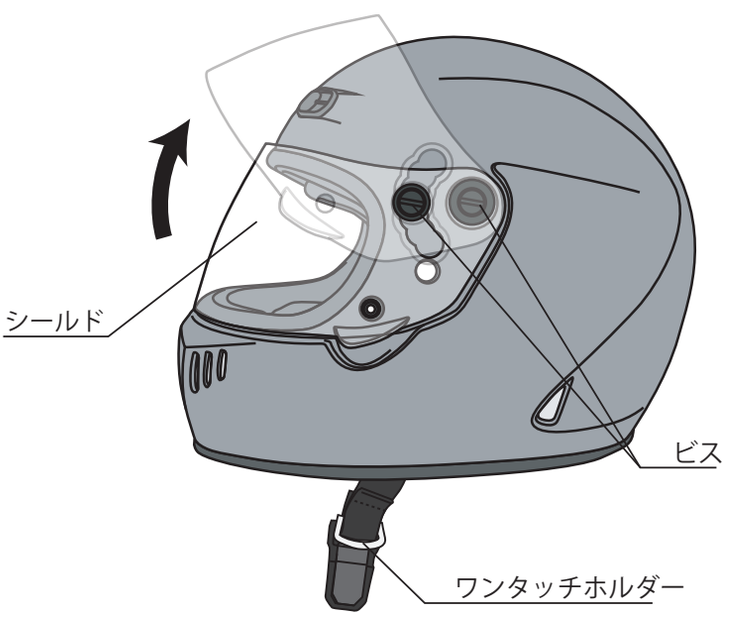
①シールド側の穴をヘルメット本体のシールド固定部に合わせて押さえます。
②シールドワッシャー裏側のつめ 2 箇所をそれぞれ、ヘルメット本体の溝に合わせて、ビスで固定します。
反対側も同様の手順を行ってください。

※シールドワッシャー / ビスが正しく締まっていないとシールドが外れたり、破損する恐れがありますのでご注意ください。

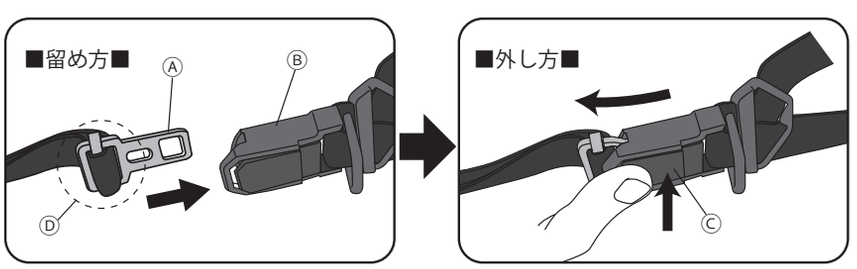
※シールド交換については、標準装備のクリアシールドにて何度かお試しの上、交換してください。

■各パーツの名称





■留め具の使用方法



■ロックをする際はⒶをⒷにカチッと音がするまで差し込み緩みのない位置でしっかりと固定してください。

■ロックを外す際は図のⒸの赤い箇所を押す事でロックが外れます。

■あご紐の長さは、図のⒹ部分を移動することで調節してください。必ずヘルメットを着用した状態でワンタッチホルダーを留め、ヘルメットが脱げない位置に調整してください。ヘルメット着用の際は、その都度緩みのないように調整してください。

NEO RIDERS　株式会社EST
〒379-2213　群馬県伊勢崎市五目牛町671-4
TEL　0270-61-7720
http://neo-riders.com

※開閉式シールド付ヘルメットのご注意点※
シールド及びシールドベースは開閉時に動く(負荷がかかる)場所ですお客様の使用頻度により異なりますが、ビスがゆるむ事により走行時にシールドが外れる場合などがございますので、運行前の点検と定期的なビスの増し締めをお願い致します。

2022.10.04

内装の着脱方法

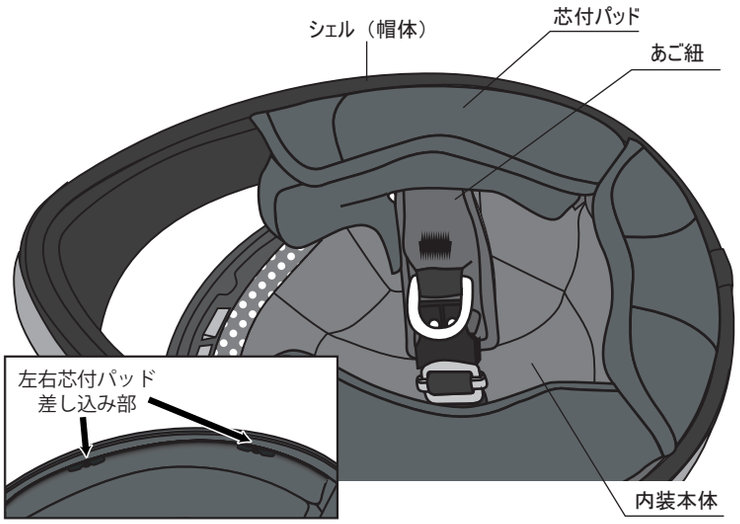
内装は、耳パッド、内装本体
いずれも芯付のタイプです。

GTX

内装の形状は多少異なりますが、構造及び着脱方法はほぼ同じです。

2022.10.04

■耳パッド・芯付パッドの着脱



はずし方

①パッドの黒色の芯がシェル（帽体）と衝撃吸収ライナーの間に挟まっているので引き抜きます。（3カ所）
※パッドの黒色の芯は、無理に曲げないようにして下さい。

②耳パッドのボタン3カ所を外します。

取り付け方

①耳パッドの右用・左用を確認して、それぞれ3カ所のボタンをはめます。

②左右パッドの黒色の芯を、シェル（帽体）と衝撃吸収ライナーの隙間に差し込みます。
左右の芯付パッドはシェル側差込部に突起がありますので、黒い芯部分の切れ込みにはめ込んで下さい。

③後部分の芯付パッドをシェル（帽体）と衝撃吸収ライナーの隙間に差し込みます。

■内装本体の着脱

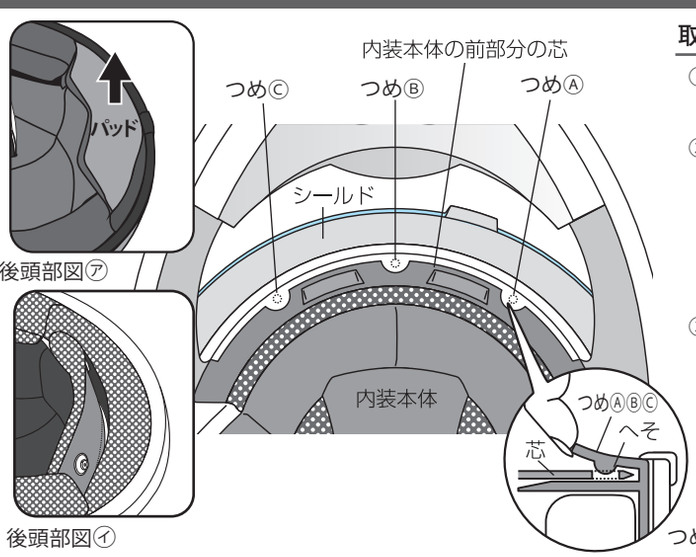
はずし方

①後頭部図㋐と左右のパッドを外します。

②後頭部図㋑のように内装本体後頭部の矢印箇所をめくりボタンを2か所外します。

③次に、ヘルメット前部分にあるつめⒶを指の爪で上に引き上げるようにすると（右のつめ断面図参照）、つめⒶの裏側にあるへそから芯がはずれます。

④Ⓑ⇒Ⓒの順につめから芯をはずします。これで内装本体が取り外せます。



取り付け方

①後頭部図㋑のボタン2か所を留めます。

②次に、内装本体の前部分の芯をⒷ⇒Ⓐ⇒Ⓒの順にはめ込みます。この時、芯の丸い穴がつめⒶ、Ⓑ、Ⓒの裏側のへそに確実にはまっていることを確認しながら、芯全体をはめ込んでください。

③後頭部図アの内装パッドの黒色の芯をシェルと衝撃吸収ライナーの隙間に差し込みます。
左右の芯付パッドを帽体と衝撃吸収ライナーの間にある突起に、芯部切れ込みを合わせながら差し込みます。

◎内装材のお手入れ

- ●洗濯は、家庭用の洗濯洗剤を使用して、手で優しく押し洗いし、よくすすいでから水分を取り除いてください。
- ●水分は、内装材を乾いたタオルなどで挟んで押し付けるようにして取り除いてください。内装材を強く絞ると、素材を痛めますので、絶対に行わないで下さい。
- ●直射日光の当たらない風通しの良い場所で自然乾燥させてください。

ヘルメット使用に際してのご注意

内装本体の内側のライナー（発泡スチロール）部分に、ヘルメットの取り扱い方法の簡単な「注意書」が貼ってあります。使用される前にご一読ください。

NEO RIDERS 株式会社EST
〒379-2213 群馬県伊勢崎市五目牛町671-4
TEL 0270-61-7720
http://neo-riders.com